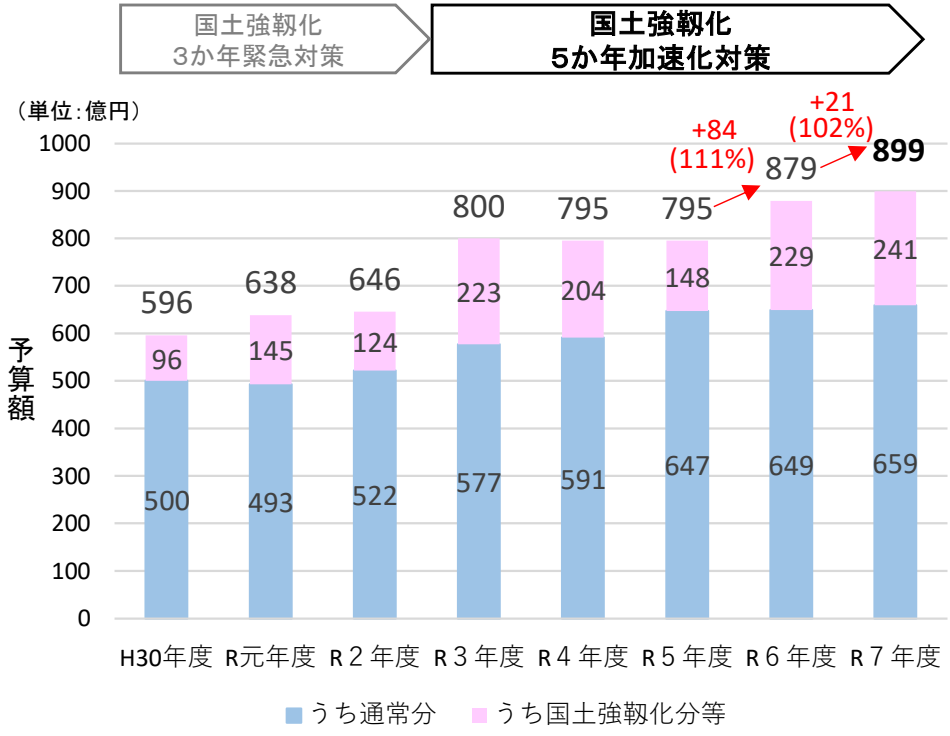
令和7年度当初　公共事業予算（県土整備部所管分）

一般会計
（災害復旧・受託公共事業を除く）

県土整備部
県土整備総務課 電話2655

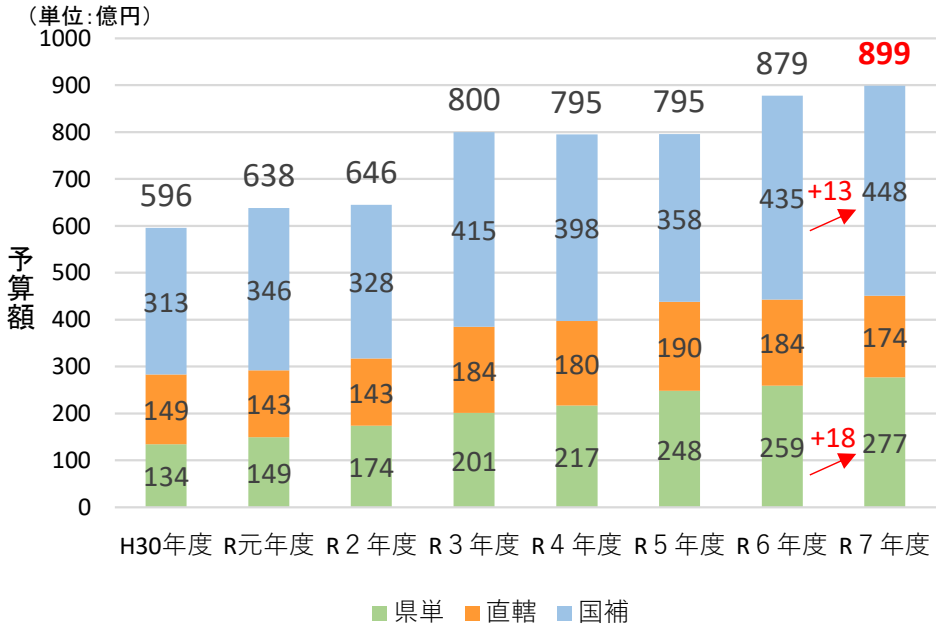
○ 5か年加速化対策の最終年度である令和7年度は、過去最大となる国土強靱化等予算に加え、昨年度を上回る規模で通常予算を確保し、インフラ整備・管理を推進

（1）通常分/国土強靱化分 別



（2）事業別内訳

・過去最大となる国土強靱化等予算の活用により、国補で13億円増額
・暮らしに身近な課題に対応するため、県単で18億円増額



※ 国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」（平成30～令和2年度）の初年度については、平成30年度補正予算において措置されています。
※ 国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」（令和3～7年度）の初年度については令和2年度補正予算、2年目は令和3年度補正予算、3年目は令和4年度補正予算、4年目は令和5年度補正予算、5年目は令和6年度補正予算において措置されています。
※ 平成30年度当初には平成30年度2月補正予算を、令和3年度当初には令和2年度2月補正予算を、令和4年度当初には令和3年度1月補正予算を、令和5年度当初には令和4年度1月補正予算を、令和6年度当初には令和5年度12月補正予算及び令和5年度2月補正予算を、令和7年度当初には令和6年度12月補正予算及び令和6年度2月補正予算を含んでいます。また、令和元年度は6月補正肉付け後予算となります。
※ 数値は四捨五入によるため、内訳と合計が一致しないこと等があります。

国土強靱化の推進により、整備効果を発揮したインフラ施設の代表的な事例を紹介

一般県道香良洲公園島貫線　香良洲橋

効果事例集はこちら